

議 平生町  
**議会だより**

第109号  
 2008年10月25日

発行：平生町議会  
 〒742-1195  
 山口県熊毛郡平生町大字平生町210-1  
 TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109  
 発行者責任者：田中 稔  
 編集：議会広報広聴調査特別委員会



がんばれ！がんばれ！（9月28日平生小学校運動会）

9月 議会報告 いっぱん質問	定例会 .....	2ページ
	委員会審査報告 .....	4ページ
	いっぱん質問 .....	5ページ
	投稿コーナー .....	12ページ



# ふるさと納税81万円

平成20年第4回平生町議会定例会が、9月11日から24日までの14日間の日程で開かれました。  
 9月議会は決算認定もあり、前年度の予算が効率的に、また有効に使われているか審査します。  
 上程された議案は補正予算7件、条例2件、認定10件、同意2件、および議員提出条例1件の計22件です。いずれの議案も全会一致で承認しました。  
 一般質問では6人の議員が登壇し、町政の諸課題の取り組みについて質問しました。

**平成20年度補正予算  
2億3568万円を追加**

平成20年度一般会計は2億3568万円を追加補正し、予算総額は47億5068万円となります。

## 主な歳入

- 町税 2200万円増額
- 地方交付税 9569万円増額
- ふるさと納税(寄附金) 81万円増額

## 主な歳出

- 住民情報システム課税プログラム変更委託料 1500万円増額
- 国民健康保険事業勘定特別会計繰出金 1075万円増額

- 国庫支出金 1012万円増額
- 繰越金 6812万円増額

特別会計は、6会計1億1852万円追加補正し、予算総額36億4629万円となります。

- 国民健康保険事業勘定特別会計では、国民健康保険事業基金積立金 2600万円増額
- 老人医療事業特別会計では、医療給付費 2418万円増額
- 一般会計繰出金 2080万円増額
- 介護保険事業勘定特別会計では、介護給付費準備基金積立金 977万円増額
- 国庫支出金等過年度分返還金等 1233万円増額

- 熊南地域休日診療所交付税精算金 472万円増額
- 熊南総合事務組合負担金 670万円増額
- 施設園芸省エネルギー推進事業費 128万円増額
- 漁港建設工事請負費 1950万円増額

# 実質公債費比率 19.2%

## 平成19年度歳入・歳出決算を認定

平成19年度一般会計歳入歳出決算は、歳入総額が47億7882万円、歳出総額46億8052万円、差引9830万円となり、繰越明許費繰越額17万円を除いた実質収支額は9812万円となりました。

歳入歳出総額を前年度と比べると、歳入額3102万円(0.7%)の増、歳出額5234万円(1.1%)の増と、増額決算となっております。

これは、老人医療事業特別会計において、国庫負担金及び支払基金交付金について年度内に定められた負担金の歳入の不足を一般会計からの繰出金で調整・実質的には18年度決算と同規模となっております。

歳入においては、三位一体の改革に伴う税源移譲や税制改革などにより地方税は大幅な増加となりましたが、半面、地方譲与税や地方特例交付金は大きく減少しています。

地方交付税、補助事業による国庫支出金、県支出金は増加していますが、地方債発行額を抑え

たことにより町債は減少となっております。財源不足を補てんするための基金からの繰入金についても減少となっております。

なお、基金については、繰入金が増え、基金残高は大きく減少し、定額運用基金を除く積立金残高は、対前年度比22.9%の減となっております。

実質公債比率については、地方公共団体の財政の健全化に関する法律により算定した数値において19.2%となり、0.3%上昇しています。

この要因として、熊南総合事務組合の火葬場建設にかかる起債の元金償還が開始となり、負担金が増加したことによるものです。

各種基金の残高についても、交付税の増加により若干基金からの繰入額は減少していますが、歳出額に対する歳入不足分を基金充当している状態に変化はなく、厳しい財政運営を余儀なくしていることにまちがいありません。

### 高木氏、河村氏 教育委員会委員任命に同意



高木 哲夫氏

平生町教育委員会委員2名の任期満了にともない、高木哲夫氏(大野在住57才)、河村伊千代氏(曽根在住37才)を新たに任命することに同意しました。

高木氏は、当町の総務課長を歴任されています。

河村氏は、地方教育行政の法律改正により、教育委員に保護者を含むよう規定が盛り込まれたため、PTAの役員を務められている保護者の代表です。

平成20年10月1日から4年間にわたり、当町の教育行政の振興、発展に力を発揮されることを期待します。



河村 伊千代氏

なお、2期8年にわたり教育長として、当町の教育行政に対し、情熱をもって務めてこられた合頭興亞氏、また、同様に1期4年を務めてこられた南弘明氏は、今限り(9月30日付)をもって勇退されました。

# 年金保険者からの特別徴収の 情報を電子化

## 委員会公審査報告

### 総務厚生常任委員会

平成20年9月11日の本会議から付託を受けた所管事項について、9月16日に委員会室で慎重に審議しました。  
その結果、すべてを全会一致で承認しました。

#### 補正予算

**質** 公的年金から特別徴収にあたっての電算システムの仕組みと今後の管理はどのようになるのか。

**答** 年金保険者からの特別徴収に関するすべての情報が電子化され、地方税電子化協議会を通じて市町村と年金保険者のデータの相互受信が実施される。

**質** このためのシステムは、民間企業が構築、運用し、町はサービスのみ、有料で受ける。これにより費用が大幅に削減できる。

**質** このシステムの使用

料はいくらか。  
**答** 年間約130万円だ。

#### 決算

**質** 町で借り上げている土地の取得は検討されているか。

**答** 所有者からの申し出など状況に応じて検討している。

**質** 行政評価が次年度の予算に反映されているか。

**答** 19年度は59事業の行政評価を行い、事務事業の再認識ができた。議会や町長の考えを加味して予算に反映している。

**質** 母親学級の参加者が減少しているが、開催のあり方など検討しているか。

**答** 妊婦検診の充実で参加者が減っていることから年4回を2回として基本的な内容を重点に開催している。

# 地元の要望は次年度予算に反映

### 産業文教常任委員会

本会議から付託を受けた所管事項について、9月18日に委員会室で慎重に審議しました。  
その結果、すべてを全会一致で承認しました。

#### 補正予算

**質** 施設園芸省エネルギー推進事業は次年度以降も継続されるのか。

#### 決算

**質** 有害鳥獣捕獲対策の委託料の内容は

**答** 地元猟友会との委託契約により捕獲作業を実施したものである。



佐賀地区の海岸保全事業

**質** 土木費の工事請負費で不用額が出ているが、地元の要望を十分満たしているのか。

**答** 要望箇所も現地精査を行い、順次予算に反映して実施している。

**質** 町営住宅明渡請求執行費用で、住宅の明渡しは完了しているか。

**答** 2名は退去届が提出され、行方不明者の1名は明け渡し請求の訴訟で対応し、完了している。

**質** 栄養教諭を中核とした食育推進事業の内容は。

**答** 学校、家庭に対する食育についての実践的な調査研究、保護者向けの参考資料の作成などである。



淵上正博 議員

# いっぱん質問

## 町政を問う

質 介護保険について問う

答 総合的な判断で決定する

質問

介護保険は、来年4月から3年間で第4期事業計画の期間となる、次の3点について問う。

1. 介護労働者の低額な賃金が、人材不足の原因となっている。

介護報酬の引き上げが保険料の値上げにつながりかねない。介護保険料改定の当町の方向性は、

2. 介護型の療養病床、医療施設を2011年度末までに6割削減しようとしている。

医療病床を多くかかえる当町の考え方は、

3. 当町の事業所ごとの介護用品のレンタル料は、2倍以上の開きがある。町の考え方、方針はどのようになっているか。

答 弁 町長

介護保険に関連して3

1. 点の質問に答える。

2. 介護保険料の改定は、国や社会保障審議会の答申を参考に総合的な判断の元に決定する。

3. 県の基本的な姿勢は、受け皿を整備しながら再編を進め、ニーズと医療機関の自主的な判断を尊重していくとある。

町としては医療病床から介護保険施設に転換する場合、必要定員数を設定しない予定だ。

病院の自主的な判断を尊重しながら計画を策定していく。

3. レンタル料については、国も同一用具の価格差実態調査を行い検討をしている。

町では事業者連絡協議会などで情報提供をして対応する。

質

雇用促進住宅廃止の対応は

答

国と協議しながら対応していく

質問

福田内閣は、2011年度までに雇用促進住宅全住宅の半分を廃止することを決めた。

町内でも、平生村2棟大野南2棟が廃止対象となっている。入居者数は双方4棟で98戸となっている。

国や「機構」は、これまで「居住者保護のため、入居したまま、民間ではなく自治体などに売るのが基本」としている。当町の対応はどのようになっているか。

答 弁 町長

雇用促進住宅の入居者には機構からお知らせがされている。これには定期入居の2年毎の契約更新は12月以降しないこと、建物はその譲渡について町と協議していくことの2点が書かれている。

現在入居されている方々の住宅対策と、譲渡を受けた場合の維持管理費などの問題を充分検討したい。

将来の財政状況を勘案しながら現実に取り得る政治判断を全体で協議し、なるべく早く方向づけを

再質問

したいと考えている。

厚生労働大臣は、一方的な形で入居者を退去させることのないようにと改善を約束している。

町として、聞き取り調査、また、相談窓口を開設することはできないか。

再答 弁 町長

住宅対策、人口対策、定住対策にも係わる大切な問題だ。

窓口は考えていないが、国と協議しながら具体的な対応をしていく。



廃止が検討されている雇用促進住宅



細田留美子 議員

質 救急体制を守り育てよう

答 消防組合等 充分意見交換をしていく

質問

全国的に救急出動件数が増加している。柳井地区広域消防管内(1市3町)では、平成4年に約2000件であった要請が昨年には3460件に増えている。

急病で運ばれる7割が60才以上で今後更に増えてくると考えられる。町内の救急車出動の動向と課題、対策を聞く。

答 弁

総務課長

19年度、広域圏内での全体出動件数の内、平生町は420件、12%の割合で、これを人口1万人当たりで換算してみると平生町が295人と構成する1市3町の中では1番利用が少ない。

しかし、一人の方が一週間で38回通報された現実もある。折に触れて町民に適切な利用で必要な人が必要な時に救急車の利用ができるように啓発、広報に取り組んでいく。

再質問

二次救急医療体制の疲弊を防ぐための軽症者の利用を抑える取り組みはないか。

県内13消防本部と消防局を4本部に集約する広域化推進計画の影響はどうなるか。民間の救急サービス等の育成はできないか。

再答 弁

町長

消防組合などと、十分意見交換をしていく。

要 望

命に直接かわる救急体制を住民の理解と協力を得て、守り育てる取り組みを期待する。

質

新規就農者へ充実した支援を

答

新規就農者の裾野が 広がる取り組み

質問

国の自給率がカロリーベースで40%を切り、輸入食品の安全性が問題となっている昨今である。

しかし、国内農地の荒廃は止まらず、町内も同様である。対策として担い手の発掘と育成が急務だと考える。新規就農者に国、県とも支援をしているが最前線を担う町の支援方針を問う。

答 弁 町長

農業を再生していくうえで担い手が大きなポイントである。新規就農者もできるだけ裾野が広がっていくように取り組みを進めていきたい。支援事業についても就農定住円滑化対策事業、園芸産地育成事業などは町が1/2の助成をしている。住宅の確保などの情報についてはホームページに、相談窓口先を掲載している。

再質問

隣町は空き屋バンクを始め、耕作放棄地対策の「農地バンク制度」と一体的に運用するとしている。

再答 弁

経済課長

住居の確保は支援策の必要条件の一つと考える。町営住宅などの利用はできないか。

町単独事業としては「空き家バンク」の制度は考えていないが、県の支援の中に空き家などを県と協力して、修理し、使っていく支援制度がある。この制度の利用を考えたい。

要 望

この数年が重要な時期と考える。関係機関と連携をとりながら町の熱意ある旗振りを期待する。



実った稲の向こうはセイタカアワダチソウ



藤村政嗣 議員

**質** 安心・安全なまちづくりについて問う

**答** 現地を点検し、改善策を検討する

質問

1. 交通安全対策について、県道光上関線佐賀地区のJA佐賀支所付近の横断歩道施設整備の件を問う。

この場所は高齢者の方々が買物に多く利用される所であり、火曜日には朝市も開催されている。

横断歩道の設置場所は、若者定住促進住宅前小森敷線の付け替え交差点付近が適当と思われるが整備状況を尋ねる。

2. 自然災害に対する政

策を問う。

最近では局地的な集中豪雨が各地で多発しているが台風など自然災害に対して施策を問う。

イ. 災害通報を受けた後の職員の配置体制と自主防災組織となる自治会の対応は、

ロ. 台風や集中豪雨による、土石流、がけ崩れ、高潮、洪水などの被害を予測したハザードマップの作成はできないか。

答弁 町長

1. 町と道路管理者、警察と一緒に現地を点検し、どんな改善策が取れるか検討する。

2. イ. 防災行政無線や広報車で呼びかけを行ないながら、自治会長さんに連絡を取っていく。

ロ. 土石流、がけ崩れなどの土砂災害危険マップは配布されている。沿岸部の高潮ハザードマップは24年度以降になると聞いている。佐賀地区において今、浸水想定区域図面と防災マップを一体にした簡易な高潮ハザードマップを作成できないか検討

討をしているところである。

再質問

交通安全については、道路構造令の中で大変難しいとのことだが、現場は危険な場所なので施設整備を願いたい。

集中豪雨時、大内川排水機は時間雨量何ミリまで耐える能力があるか尋ねる。

再答弁 町長

大内川の排水機は6機あり、能力とすれば1秒間に32トン排水する。



横断歩道の施設整備が待たれる佐賀若者定住促進住宅交差点前

**質** いじめ・不登校の現状と対策は

**答** 保護者との連携を常に保ちながら指導する

質問

平生町中での児童・生徒の暴力、いじめ、不登校について、現状とこれらの対策を具体的に問う。

答弁 教育長

平生中学校では、平成19年度、暴力行為7件、いじめ3件、不登校6件、小学校では、暴力行為7件、いじめ2件、不登校が9件あった。対策は、短期的な指導と、中長期的には、常に危機意識を持って臨み、保護者との連携を常に保ちながら指導を行なっていく。

再質問

不登校の定義は年間30日以上欠席のもの（病欠を含む）とあるが、いじめの定義が変更されたと聞くが、どのように変更されたのか。

再答弁 教育長

文科省は定義を「一定の人間関係にある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じている者、すなわちいじめられたと思つたら、いじめである」と定義を変えている。

その他の質問

平成20年度の概算要求について。



常時保護者との連携を深めている平生中学校



岩本ひろ子 議員

質 上関原発について

答 隣接町として 動向を見極めていく

質問

上関原発は今までに安全第一をもとに調査がなされ、大体終わってきている。一年以内にも埋立申請が下りる時期と聞く。電源三法交付金制度に従って、交付金を受けられることだが次の3点を質問する。

1. 町長の原発に対するスタンスはどうか。
2. 隣町の町長としての働きがなされていると思うが、どのようなことをなされて来たのか。
3. 町長は、原発の恩恵を積極的に受ける意向はあるのか。

答弁 町長

1. 各種の許可申請の手続きが、今進められており、その動向をしっかり注視していくというのが基本的なスタンスである。
2. 隣接町として、大変重大な関心を持って動向を注視していく。



上関原発の配置計画図

3. 動向を十分注視していくというのが、今の段階で言えることではないかと思っている。

再質問

原発により町は「どう変わるか」また「どう変えたい」と考えるか。

再答弁 町長

動向をしっかり見極めて対応していく。

再々質問

町としてどう対処すべきか、計画を立て戦略を練る必要があると考えるが、戦略プロジェクトチームを立ち上げる考えはないか。

再々答弁 町長

提言ということで受け止めさせていただく。

要望

できるだけ町が良くなるようにするのが、町の役目だと思う。ぜひ町民に潤いがくるように計画を立てられることを要望する。

質 遊休農地対策の考え方は

答 滞在型市民農園は課題

質問

平生町にある遊休農地を利用して支援事業もなされている。町内の美しい海、自然を生かし健康的でゆとりのある国民生活の確保を図ると共に農村の振興にもつながる滞在型市民農園を開設してはどうかと考える。

市民農園では、小面積の農地を利用して野菜や花の栽培、児童、生徒の体験学習など多くの方が参加でき、多様な事ができる。市民農園整備促進法に基づく滞在型市民農園の開設を、町長はいかがお考えか。

答弁 町長

滞在型市民農園というのは一つの課題ではあるが、本町の場合、体験型農園に取り組んでみようということで、県の農林事務所、JA、地元の農業委員会などに協力をいただき、本年度からスタートさせている。

要望

町の良いところを生かし、滞在型市民農園の開設を考えていただきたい。



平岡正一 議員

**質** 桜町線の街路樹  
行き届いた管理を

**答** 管理計画を作成していく



管理不十分の桜町線

**質問**

平成13年9月議会で、桜町線の街路樹を桜に変更することで議論があった。当時町長は、町内外から人が訪れる桜の名所を目指して、樹種の選定、入念な管理を表明されたが残念な状況にあると思う。

西洋栃の木は163本中16本が枯れ、8力所はなくなっている。

桜の木は補植したにもかかわらず、101本中9本が枯れ、3力所がなくなっている。

毎年、栃の木の剪定や枯木の除去を求めている。

**質問**

が、十分な管理をされていない。  
桜の木の管理計画や、方針を示してほしい。

**答弁** 町長

美しい景観、憩いの場づくりの一環として、この事業が開始された。

今、指摘をされたように管理が十分行き届いていないことも事実である。

問題は維持管理のあり方で、これからは計画的に対処していく必要があり、管理計画を作成し、春になると花見ができるようにしていきたい。

**質** 生活道路の  
危険排除を求める

**答** 総点検の必要がある

**質問**

これまで弱者にやさしい生活道路を求めて来たが、あまり進行していない。

このままでは、歩行者、車イス、電動車、押し車などが転倒したり、はまり込むなど危険な事態が予測される。

地質の問題もあるが、側溝と路面の段差、下水

**答弁** 町長

生活道路の危険排除について、指摘があったように一度総点検をする必要があると思っている。

個々の問題については自治会を含め要望が上がってきており、工事請負、道路補修、簡単な工事は職員が補修をしている。

危険箇所については、迅速に対応するため、道路パトロールも実施してきたが、「障害者、弱者ということだけではなしにいるんな箇所危険が伴っている」という指摘を真剣に受け止め、対応をしていきたい。



段差のある歩道脇



河藤泰明 議員

**質** 「ぬくもりのある平生町の総合計画」を問う

**答** 事業の進捗はまちづくり協議会で計画を検証している

質問

第三次総合計画の基本計画の整備方針について達成率を問う。また第四次総合計画策定へ向けての基本的な考えを問う。

答弁 町長

第三次総合計画を作った、計画だおれにならないように第三次総合計画審議会委員の皆さんを中心としたまちづくり協議会を設置し、事業の実施状況などを日頃からチェックして、計画を検証している。

答弁 教育長

幼児教育については、年間6回幼・保・小の連絡協議会を開いている。

小・中、学校教育については、町内3校にパソコンを整備した。

再質問

現実的な明るい未来が想像できる、ワクワクする計画を希望するが、町長の考えを問う。

再答弁 町長

町民と一緒にこの町の将来を考えて、町づくりに汗を流していきたい。

再々質問

今まで長年やってきたことを見直したり、やめることは大変な労力が必要だが、平生町にあった第四次総合計画の策定を着実に実行してスタートしてほしい。

再々答弁 町長

現実をしっかりとらえ、現実に即した町づくりを考えていける一つの流れを大切にしていきたい。

研修報告

農林水産業と建設業の再生

柳井地区広域市町議会議員研修会が7月18日、柳井クルーズホテルで開催されました。

講師は慶應義塾大学理工学部教授の米田雅子氏から「地域自立へ復興のすすめ」と題した講演を聞きました。

建設帰農が生む新しい農業ビジネスや地域自立、地方再生のための規制改革など、全国の様々な事例を挙げた興味深い内容でした。当町の地域産業活性化のため、一層努力をしていきます。



議会が変われば、職員・自治体が変わる

町議会実務研修会が8月5日、山口市の防長苑で開催されました。講師は全国町村議会議長会議事調査部長の岡本光雄氏で、「今、議会、議員に期待されるもの」と題した講演を聞きました。

地方分権、議会の活性化が叫ばれて10年余り、地方議会、議員が直面する課題について、全国の様々な議会改革の取り組みの紹介や課題、今後の提案などの内容でした。

議会の動き

(H20・6/16～H20・9/10)

平成20年

6月16日 6月23日

第2回定例議会

6月16日

議会広報広聴調査特別委員会

6月23日

議会運営委員会

議会全員協議会

6月26日

議会広報広聴調査特別委員会

7月7日

議会広報広聴調査特別委員会

7月16日

議会広報広聴調査特別委員会

7月18日

第9回柳井地区広域市町議会議員研修会

7月24日

第3回臨時議会

議会全員協議会

8月5日

町議会実務研修会

8月21日

産業文教常任委員会

8月22日

総務厚生常任委員会

8月27日

郡議会広報連絡協議会

8月28日

議会運営委員会

9月2日

議会全員協議会

# 常任委員会研修報告

## 議会基本条例を研修

### 総務厚生常任委員会

総務厚生常任委員会で、議会運営委員会で論議されている、町民の皆さんとのコミュニケーション、開かれた議会はどうかを進めていくかを研修するため、10月6日から7日の2日間にわたり、島根県邑南町、鳥取県南部町の2議会へ出向き議論を深め勉強をしてきました。

両町の共通点は、4年前に町村合併し大きくなった町、また町議会をどう発展させていくかを議論する中で、約1年をかけ議会基本条例を制定し、議会の活性化を図っていました。

また、議会基本条例の中で、特に感じた事は、執行部側に反問権を与えた事ではないかと思う、これにより議員と執行部側に緊張感が生まれ、緊迫した議会になったとの報告を受けました。

もう一点は、ケーブルテレビの活用です。邑南町では11の公民館で視聴

できるわけですが、1日約60名の方がテレビで傍聴しており、また南部町では加入率が90%となっており傍聴者も多く、ますます議会内の緊張感につながっているとの報告を受けました。

当町もこの研修を元に議会の活性化を深めていきたいと思えます。



南部町役場で研修

## 学校耐震化の先進地を視察

### 産業文教常任委員会

平生町では、平成22年度に平生中体育館の耐震化工事を予定しています。

効果的な工法や財源確保の調査研究のため先進地視察を行いました。

10月6日から7日の日程で島根県奥出雲町に委員全員が行きました。当地は横田町と仁多町が合併して生まれた町で、人口規模は平生とあまり違いませんが、面積は10倍ある農林業中心の町です。

小学校11校と中学校2校があり、その内の横田中学校を視察しました。

横田中では、平成18年度から耐震化を開始、21年度

終了予定で総事業費は6億8000万円。大規模改修と耐震化を同時に行い事業費の軽減が図られていました。

財源については事業にに応じて、なるべく有利になるよう努力されてました。

平生中体育館は災害時の避難場所でもあり、早急に耐震化を進める必要があります。今年度中に実施設計を行い、21年度に学校運営に支障ないよう調整し、22年度には工事実施予定で、工法や事業費を検討しながら耐震化を協議していきます。



奥出雲町の横田中学校を視察

# 投稿コーナー

## ひらおの天使たち



声を出して楽しいね！（平生児童詩吟クラブ）

私が、平生児童館と縁があって、児童館詩吟クラブの指導を担当するようになってから、早くも一年が過ぎた。以前、田布施町のある男子を小学一年生から高校二年生までの長い間、詩吟の個人指導した経験から、ある程度の自信はあったものの、団体の指導となるとまた違った難

しさがある。顔が一人ひとり違うように、性格・声・感性・集中力・耐力等々、みんな違う。とは言っても、金子みすずの詩のように、みんなちがってみないいい子だ。この子たちと一時間にわたって、発声練習・発音・難しい詩吟等を勉強するのは至難

の業で、カリキュラムも館長さんと相談しながら、試行錯誤を繰り返して、美しく正しい日本語を楽しく勉強できるよう早口言葉や、童謡詩吟などをとり込んだりしたが、概ねその日の児童の出席状況や雰囲気を見て、臨機応変に進めてきた。ただ、私が何時も感じるのはどの子も素直で、可愛くて、優しく、おおらかであるということだ。

この前も、練習を終えて、教室を出ようとすると、一人の子が私のスリッパをきちんと揃えてくれた。「ありがとう」とその子の頭を撫ぜながら言葉は感動でちよっと震えた。「ひらおの子は、まるで天使だ」浅学非才の私が言うのはおこがましいが、この「天使たち」が山水清健にして人情細やかなふるさと平生で、すなおに、りりしく、また、たおやかな人に育ってくれるよう伝統芸術である吟道を通して、万分の一でも恩返しができるよう愚直に生きたい。宇佐木 中川 勉

### 原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。  
・ 字数 4000字以内  
・ 締切日 平成20年12月19日  
・ 提出先 平生町役場議会事務局  
議会広報担当者  
紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承ください。  
掲載文には薄謝を差しあげます。

### 編集後記

朝晩の冷え込みは秋の深まりを感じますね。

気持ち良い秋晴れの下、各学校では運動会が行われました。議会だより、写真担当の私はカメラのファインダー越しに見える子供たちの笑顔や一所懸命な表情、そして保護者の方からのあたたかい声援に、たくさんパワーをもらいました。

国会も世界経済も、なんだか難しいことになっていきますが、私たち議員は町議として出来ることを、出来ることから、ひとつひとつ真剣に取り組んでまいります。

腹が減っては戦は出来ぬ。食欲の秋です。まずは腹ごしらえですかね。平生町の秋を求めて町内を駆けずり回してみます。見かけた時には、皆さんの声を聞かせてください。